



声楽 (ソプラノ)

藪田 真木子

そのだ まきこ

埼玉県出身 埼玉県在住

【所属マネジメント】

株式会社二期会21

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-25-12

TEL：03-3796-4711 FAX：03-3796-4710

担当：越津 憲一

E-mail：koshizu@nikikai.net

やってみたいアクティビティとコンサート

アクティビティでは-1.『聴いてみよう』……ふだん使っている日本語の歌を生声で、そして近くできくとどんな感じ? 2.『話してみよう』……歌の歌詞を声に出して読んでみます。耳からも言葉をきいて、その情景や気持ちを感じてみましょう。3.『声を出そう』……身体から声を出すように、「おーい!」とお互いに離れて声を交換してみます。4.『歌おう』……実際に歌ってみます。歌詞から感じたことを声に乗せられるように。この例は小中学生向けですが、大人の方にも応用することができます。コンサートでは-「日本のうた」には、よく知っているものから、まだまだ知られていないすばらしいものがたくさんあります。童謡のような内容を使った「語り歌」、ゴージャスにそして面白く変身した「ゆりかごの歌」や「めえめえ児山羊」……そして「さとうきび畑」のようなメッセージ性のある歌、そしてもちろん「松島音頭」「浅間の馬子」のような民謡、さらに「さくらさくら」や「落葉松」をアレンジしたピアノソロも合わせたプログラムになっています。

自己PR

私はこの事業で、主に『日本のうた』を歌ってきました。「赤とんぼ」「浜辺の歌」、そして「さとうきび畑」……懐かしい『日本のうた』を歌うとき、きいてくださる皆さんの表情が、遠くを見るような、それぞれの思いを探っているように感じます。私からのメッセージが届いたとき、笑顔やそして時には涙……皆さんと「思い」を分かち合う瞬間が生まれます。『謡う』……人は古くから生きる中の様々な思いを謡ってきました、作業唄や音頭などの民謡・童謡・唱歌……。その土地にはその土地の祭りがあるように、もしかしたら眠っている「うた」があるのかもしれない。まずは、生声で「日本のうた」体験をしてみませんか?そしてそれを入り口に、一緒にそれぞれのDNAを探る旅に出てみましょう!

PROFILE

桐朋学園大学および同大学研究科修了。二期会オペラスタジオ修了。修了時に優秀賞受賞。平成5年度文化庁インターンシップ研修生。第39回全日本学生音楽コンクール東日本大会第3位。第12回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。第71回日本音楽コンクール声楽部門第3位。オペラでは桐朋学園オペラ『利口な女狐の物語』(タイトルロール)、『フィガロの結婚』(スザンナ)、若杉弘指揮・演出『サロメ』(侍女)、『スザンナの秘密』(スザンナ)等に出演。コンサートでは「コーヒーカンタータ」、フォーレ、モーツァルトの「レクイエム」、「第九」のソリストを歌うほか、ドイツリートを中心に、ドイツでのジョイントリサイタル、サントリーホール・リーダー・イベント等、多数出演。98年小泉和裕指揮の東京都交響楽団定期演奏会にてメンデルスゾーン「賛歌」のソリストで喝采を浴びたほか、03年のNHK交響楽団定期でデュトワ指揮、

R. シュトラウス『エレクトラ』に女官及び召使役で出演した。06年の宮本亜門演出による二期会『フィガロの結婚』ではスザンナ役に抜擢され大成功を収めた。07年の故・実相時昭雄演出による二期会『魔笛』のパミーナで絶賛され、10年の新国立劇場『鹿鳴館』では宮村陸軍大将夫人則子役に全日出演し好演した。情感溢れる演奏と確実なテクニック、確かなディクションによって深く音楽を掘り下げた演奏は高く評価されている。歌曲では日・独・伊の歌曲を中心に各地で活発な演奏活動を展開して常に好評を博している。また一般財団法人地域創造における公共ホール音楽活性化支援事業の登録アーティストとして、各地で「日本のうた」を中心とした地域活動も行っている。二期会会員